

評価項目		要求要件	評価区分	得点配分			審査基準		加点の採点
大項目	中項目			合計	基礎点	加点	基礎点	加点	
0.	募集要領の遵守	募集要領に規定する業務の目的や作業事項に反し、又は矛盾する提案がないこと。	必須	20	20	-	募集要領に規定する業務の目的や作業事項に反し、又は矛盾する提案がないこと。	-	-
1.	業務の基本方針と目的	業務の実施に当たっての基本方針と目的を記述すること。	必須	20	20	-	業務の基本方針と目的について、具体的に提案されていること。	-	-
2.	地域の特性	本業務の対象となる地下街又は温泉街の周辺地域の概要と特性について具体的に記述すること。	必須	10	10	-	本業務の対象となる地下街又は温泉街の周辺地域の概要と特性について具体的に記述されていること。	-	-
3. 業務の実施方法									
	3-1. 調査概要	本業務で実施する調査概要について具体的に記述すること。	必須	10	10	-	本業務で実施する調査概要について具体的に記述されていること。	-	-
	3-2. (1) 業務実施体制・役割分担	本業務の実施体制及び業務分担について、図を交えて説明すること。	必須	25	5	20	適切な役割分担により調査実施体制が構築されていること。	調査に必要な外部ネットワークや内部バックアップ体制等が存在すること。	-
	3-2. (2) 大規模CO2削減ポテンシャル調査方針・実施方法	本業務を実施するに当たり、調査対象施設等の設定方法のプロセス、現状のCO2排出量の把握方法、調査手順やデータの収集方法、効果的なCO2削減対策策定・費用対効果等の算出方法、有識者による検討会等の実施予定の有無について具体的に記述すること。	必須	25	5	20	調査対象施設等の設定方法のプロセス、現状のCO2排出量の把握方法、調査手順やデータの収集方法、効果的なCO2削減対策策定・費用対効果等の算出方法、有識者による検討会等の実施予定の有無に関し、具体的に提案されていること。	業務目的を達成する上で必要かつ適切な提案がされており、その根拠が明確である。	-
	3-2. (3) 取りまとめ方針・考え方	本業務の取りまとめ方針・考え方について具体的に記述すること。	必須	25	5	20	本業務の取りまとめ方針・考え方について具体的に提案されていること。	業務目的を達成する上で必要かつ適切な方針・考え方が提案されており、その根拠が明確である。	-
4. 業務計画									
	4-1. 本業務の実実施計画	年度毎の本業務の実実施計画と到達目標について具体的に記述すること。	必須	20	5	15	年度毎の本業務の実実施計画と到達目標について具体的に提案されていること。	確実に遂行できる計画になっているかどうか、その計画で提案内容の達成が期待できるかどうか、到達目標は適切に設定されているかどうかについて評価する。	-
	4-2. 本業務終了後の展望	本業務の成果に基づく今後の地域づくりへの波及効果や展開性、その他どのような効果が得られるかについて、具体的なテーマを設定し、概要について記述すること。	必須	25	5	20	本業務の成果に基づく今後の地域づくりへの波及効果や展開性、その他どのような効果が得られるかについて、具体的なテーマを設定し、概要について提案されていること。	業務目的を達成する上で必要かつ適切な考え方が提案されており、その根拠が明確である。	-
5. 経理									
	5-1. 経費内訳	本業務の実施に要する経費の内訳を示すこと。なお、2か年の業務として申請する場合は別紙にて各年度の業務計画に応じたものを作成すること。	必須	15	5	10	提案の内容と矛盾のない経費が計上されているか。	効果的で効率性に優れた経費が計上されており、費用対効果が高い事業となっているかどうかを評価する。	-
	5-2. 経理的基礎等	事業を確実に実施できる経理的基礎を有すること。	必須	5	5	-	債務超過でなく、かつ利益が計上できている。又は事業実施のために必要な資金調達に掛かる確実な計画を有しているか。	-	-
合計				200	95	105			加点合計 基礎点

基礎点部分の採点は、技術上の基準を満たす場合に、当該基礎点全部を得点とする。
 加点部分の採点は、配点5点の場合、技術上の基準に基づき、優:5点、良:3点、可:1点、不可:0点、の4段階評価とし、配点に応じて係数をかけて得点を算出する。
 基礎点がある項目に係る加点部分の「不可:0点」とは、基礎点の基準は満たす(基礎点は得点)が、加点部分の基準をなら満たさない場合である。